

《 安全チェックリスト 》

恵庭市ファミリー・サポート・センター

記入日(年 月 日)

子ども氏名(/ 才 力月) ・ 協力会員名()

※ 援助場所の安全確認をお願いします。(1人につき1か月有効です)

全員	火災や地震の際の避難場所を知っていますか。 避難場所()	<input type="checkbox"/>
全員	119番を呼ぶ際に必要となる情報について把握していますか。 援助場所の住所() 目印となる建物()	<input type="checkbox"/>
全員	緊急連絡先を控えていますか。 依頼会員() ファミリー・サポート・センター(0123-29-6031)	<input type="checkbox"/>
全員	家具などの鋭い角は、ガード等子どもが怪我をしないような工夫がしてありますか。	<input type="checkbox"/>
	高いところに置いてある物が落下する心配はありませんか。	<input type="checkbox"/>
	ドアがバタンと閉まらないような対策がしてありますか。	<input type="checkbox"/>
	子どもの手が届くところに、以下の危険性のあるものを置いていませんか。	
6才以下	【怪我】ライター、マッチ、刃物 【火傷】 熱いお茶、ポット、炊飯器、鍋、アイロン	<input type="checkbox"/>
3才未満	【誤飲】 タバコ、ボタン電池、薬、硬貨、ピアス等の小物、化粧品、洗剤、あめ玉、ピーナッツ 【窒息】 ビニール袋、ラップ	<input type="checkbox"/>
6才以下	階段や段差のあるところには、子どもが落ちないような対策がしてありますか。	<input type="checkbox"/>
	窓やベランダの側に踏み台となる物を置いていませんか。	<input type="checkbox"/>
	ストーブ・ファンヒーター・扇風機などは、子どもが触れてケガをしないよう対策をしておりますか。	<input type="checkbox"/>
	コンセントやコードなどを、子どもが触ったりつまずいたりしないようにしてありますか。	<input type="checkbox"/>
3才未満	ブラインドの紐は子どもが首に引っかけてしまわないように、子どもの手の届かない高さで結んでありますか。	<input type="checkbox"/>
	浴槽や洗濯機に水を溜めたままにしていませんか。	<input type="checkbox"/>
	子どもが浴室の中に一人で入れないような対策がしてありますか。	<input type="checkbox"/>
1才未満	布団の側にぬいぐるみやタオルなど、口や鼻をふさぐ危険がある物を置いていませんか。	<input type="checkbox"/>
	ベビーベットなど高いところに寝かせる場合、転落防止のための対策はとっておりますか。	<input type="checkbox"/>
1才未満	【支援中】 ミルクを飲ませた後はゲップをさせてから寝かせて下さい。	<input type="checkbox"/>
3才未満	【支援中】 睡眠チェックを忘れずに行ってください。(乳児5分おき、幼児15分おき) ※別紙記入	<input type="checkbox"/>

「安全チェックリスト」の利用について

- お子さんを安全に支援するため、事前に援助場所の安全確認を必ずお願いします。
- 対策が不十分な項目は、支援当日までに再度安全について考え、対策・工夫をお願いします。
- 安全チェックリストは、お子さん1人につき1か月有効です。

1か月以内に、同じお子さんの援助が複数回ある場合は、初回のみ記入。

2回目以降は、初回に記入した「安全チェックリスト」を再確認し援助を行って下さい。

- 寝付いた際は、「睡眠チェック表」(別紙)を使い、安全確認をお願いします。

うつ伏せ寝はさせないで下さい。

乳児 5分おき
幼児 15分おき



- 依頼会員宅での援助の場合

援助当日、協力会員に「安全チェックリスト」を渡して下さい。

協力会員は、「安全チェックリスト」・「睡眠チェック表」を、報告書と共にセンターへ提出して下さい。

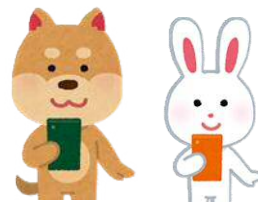
- 協力会員宅での援助の場合

協力会員は、「安全チェックリスト」・「睡眠チェック表」を、報告書と共にセンターへ提出して下さい。

- 支援センター・送迎のみの援助の場合

「安全チェックリスト」は不要です。

両会員やセンターの連絡先は控えておいて下さい。



【 支援の前に確認！！！！ 】



- お子さんの様子をお互いに確認しましょう。(体調、機嫌、ケガ等)
- お互いの連絡先を控えていますか。
- 支援中は、お子さんから目を離さないようにして下さい。